

緑化通信

2026 6月25日 (年6回25日発行) 第517号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階 TEL:(03)3586-7361 FAX:(03)3586-7577 URL: https://www.uekior.jp/ E-mail: honbu@uekior.jp 購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



環境に配慮するため FSC®森林認証紙を使用しています。

第76回全国植樹祭

当協会の生駒会長も参加



第76回

全国植樹祭

えひめ 2026

育てるけん伊予の国から緑の宝

第76回全国植樹祭実行委員会 許諾第10号



写真提供 林野庁

2026年5月17日、愛媛県松山市の愛媛県総合運動公園において「第76回全国植樹祭」が盛大に挙行政... 愛媛県での開催は、1966年の第17回大会以来、実に60年ぶり2回目です。

式典には天皇后両陛下のご臨席を仰ぐとともに、今回の大会テーマは「育な循環の中で、自然と関わりを持ちながら生かされています」と言及され、一人ひとりが緑を守り育て、未来へ引き継いでいくことが果たすべき大切な役割であるとのメッセージを寄せられました。

記念植樹の儀では、両陛下がスギやヒノキのほか、愛媛県にゆかりのあるクスノキやタバナバナなど6種類の苗木を「お手植え」され、クロマツやヤブツバキなど4種類の種を「お手播き」されました。生命への慈しみを込めて丁寧に苗木を扱われる両陛下のお姿は、森林を守り育てるといふ私たちの使命を改めて確認させてくださったものでした。

本大会を通じて示された「豊かな森林を未来へ繋ぐ」という決意とともに、日本植木協会もこれからも緑化活動に邁進してまいります。なお、来年の第77回大会は奈良県で開催される予定となっています。

令和8・9年度新ブロック長・支部長紹介

(一社)日本植木協会ではこの度、新たな役員体制がスタートいたしました。本号では新ブロック長と支部長をご紹介します。各ブロックや支部の状況、顔をぜひご覧ください。

Table with 2 columns: ブロック名, 社団名/氏名. Lists regional block leaders and their names.

北海道・東北ブロック長

松村 幹了 (南大坂林業(北海道))



タイム(SAUNA)

①抱負・決意 ②普段のリフレッシュ方法

①言語化できる「技術」に対し、経験で培う「技能」は職人の体躯に宿る。この両輪が揃って初めて、我が国の美しい景観や緑の文化は守られる。A1やDXが進む現代だからこそ、植物という生き物を相手に培った生きた技能の継承が不可欠だ。

米国では卓越した職人技術で巨万の富を築く「ブルーカーrierビリオネア」が目ざれている。地道に「手に職を身に付けた者が正当に評価される時代が来るのだ。我々植木職人も、自らの技能に誇りと価値を付加し、次世代へこのバトンを繋いでいきましょう。

②しっかりと働いた後はチル

この度、関東・甲信越ブ

ブロック長に選任されました群馬支部の(株)清紫園の瀧沢政己です。当園は関東地方の西の端に位置しており近くに草津温泉、万座温泉、軽井沢等の観光地に囲まれた標高1000m位の所で北海道と同じ様な気候のところにあります。本州でも特殊な気候でこの様な特殊な気候を利用してクリスマスツリーなどに使用されるモミノキやドイツトウヒなどのコニファー類を主体にアカマツ、クロマツ、落葉樹全般を生産しております。

最近のリラックス方法は近くの温泉でゆっくりと四季折々の景色を満喫しながら季節の料理といっしょに楽しんでおります。また、来春、横浜市で開催されます2027年国際園芸博覧会に当協会が屋外展示スペースにての展示が決定しており関東甲信越ブロックの会員の皆様にも協力要請がきておりますが協業でありますので全国の会員の皆様にもご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に成りますが協会本部ならびに全国の会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。各ブロックや支部の状況、顔をぜひご覧ください。

前号では新役員、中日本ブロックとは、聞きなれない方もいらっしゃると思いますが、近年需要に対して供給量が全く追いついていない状況が続いています。協会の会員数の減少に比例して産地の生産者も少なくなっており、必要のシーズンが始まって直ぐに欠品してしまいう樹種も増えてきております。灌木では人気樹種のアベリアの品種物やアセビ、オタフク南天、終南天等の定番樹種の規格物や中木、高木においても従来容易に手配出来ていた材料の調達に困難な状況にもなっております。改善策についてはまたの機会とさせていただきます。今回は、行われた総会の感想は、なんといいっても、我々、関西支部がずっと待ち焦がれていた若手部長が兵庫県からなんと6名!!入会があった事です。(なんと12年ぶりです!!私が12年前の入会者...)



中部ブロック長を拝命しました三重県の鶴飼幸治と申します。以前は協会の理事を3期6年、うち2年は副会長を務めさせて頂きました。そこでの経験をブロック活動に生かせればと思ってお引き受けさせて頂きました。今年度は次年度中部ブロックにて開催予定の令和9年度の通常総会の設置の準備や横浜園芸博覧会に向けての協力や園芸博への中部ブロックからの視察研修の企画等、理事時代とはまた違った大変さを感じておりますが、葛西様、江間様の両副ブロック長を始めとして役員の方にお支え頂きながらブロック活動を行う事が出来ております。

私が青年部に入会したのは28歳の時でした。以前は畑違いのサラリーマンをやっていたのでなんとなく弊社事業については知っていませんでした。私は、弊社に帰って来てからすぐに青年部に入会しました。当初は、業界用語が飛び交いなんか場違い感もありましたが、徐々に職場で知識と経験を積んだ事によ

関東・甲信越ブロック長 兼群馬支部長 瀧沢 政己 (株)清紫園(群馬県)

中部ブロック長 鶴飼 幸治 (株)鶴飼農園(三重県)

関西ブロック長 兼滋賀支部長 松居 隆史 (株)松居農園(滋賀県)

青年部中日本ブロック総会で思ふ事



この度、関東・甲信越ブ



この度、関東・甲信越ブ

最後に成りますが協会本部ならびに全国の会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。各ブロックや支部の状況、顔をぜひご覧ください。

最後に成りますが協会本部ならびに全国の会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。各ブロックや支部の状況、顔をぜひご覧ください。

最後に成りますが協会本部ならびに全国の会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。各ブロックや支部の状況、顔をぜひご覧ください。

最後に成りますが協会本部ならびに全国の会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。各ブロックや支部の状況、顔をぜひご覧ください。

り部員とよりの深い会話が出る様になった事を覚えています。

また、総会・研修会等では植木を生業としている同志が全国から集まってきますので色々な情報収集や現場視察が出来、私にとって良い機会でもありました。

今回、入会された部員に伝えたい事は、ただ、青年部員になっただけでは何も始まらないという事です。

総会では、親会の来賓ブロック長様が必ずと言っていいほど、青年部は交流がメインと言われます。後、この地を楽しんでくださいと伝えたいです。

植木の仕事は、人間関係がすごく大事な業種です。無理なお願いをする機会が大変多いです。皆さんが無理なお願いを聞いてくれるのも、定期的に顔を合わせて交流することで出来た信頼関係だと思います。

新入部員には、植木協会青年部の活動をこれから楽しんでもらえたらと思います。その為、私達は協力を惜しみません。これから長い付き合いをお願いいたします。

中国・四国ブロック長

丹下 貴啓

(株)瀬戸内園芸センター (三重県)

前号の理事紹介にて掲載。

九州ブロック長

峯 由知

(株)峯樹木園(熊本県)



九州ブロック長としての役割を担う事になり緑化事業を相談しながら出来ることを進めていきたいと思っています。

化が激しさを増し5月でも真夏日の日が続いており、これだけ環境(生活環境含む)の変化がある中でも癒しの心を作る樹木生産の拡大を進めていきたいと思っています。

支部長紹介

Table with 7 columns: 支部名, 社園名/氏名, 支部名, 社園名/氏名, 支部名, 社園名/氏名, 支部名, 社園名/氏名. Lists branch leaders across various regions like Hokkaido, Iwate, Akita, etc.



九州地区においても植木の生産の減少傾向が見られます。理由は労働力の不足や物価高騰、動物の被害などです。また、植木の種類も生活環境とともに変わってきています。特に庭などで

岩手県支部長

菅原 英典

(株)みちのくビオトープ



岩手県支部長をやっております菅原英典です。私事ですが今年度より先代の菅原豊から引き継ぎ代表取締役に任じられたことになりました。皆様、今後よろしくお願いいたします。

秋田支部長

川村 和泉

(株)田村山林緑化農園



当社は熊本市に隣接する合志市にあります。今、台湾半導体(TSMC)工場付近の場所があり、自然豊かな土地ですが、工場等が増加して土地が減少している為、緑化樹木をどう生産していくか悩ましい所です。

引き続き秋田県支部長を拜命しております。川村和泉です。本年も熊の出没が多数報告されており、被害予防のため対策グッズを追加購入し、注意喚起に努めているところで。全国的にも一部商品で苗の供給不足に熊の出没が影響しているとの情報があり、その存在感を感じずにはいられません。

秋田県では、北海道・東北ブロックの総会開催や全国組織の集いが予定されており、県外から多数の方のご来県が見込まれております。皆様を気持ちよく迎えられるよう、熊には静かにして欲しいところで

トップクラスを誇る有数の花植木産地です。県内では気候や地形を活かした多様な緑化樹木が栽培されています。

②毎朝、誰も起きたくない時間に手喚きで喚く、コーヒーを飲むことが至福の時間です。

深めながら、研修会や情報交換を通じて技術向上に努め、公共緑化や民間造園事業への貢献、次世代への技術継承にも力を注いでいます。今後も地域社会とともに豊かな環境づくりを目指してまいります。

茨城県支部長

古谷 孝行

フルヤ緑販(株)



茨城県支部は、25名会員で構成されております。支部長として支部会員の結束につながる事業を行いたいと考えております。

1. 生産・供給の傾向 (イ) 生産品目: サツマイモやメロンなどの農産物と並び、「切り枝」や「花木類」の産出額は全国でも第1位の規模を誇ります。植木やランドカバ(タマリユウやマツバギクなど)の生産も盛んで、緑化調達の重要な供給地となっております。

(ロ) 花木・庭園樹: サクラ類、サルスベリ、モミジ類など、公園や街路樹、個人邸向けに需要の高い樹種が多く育てられています。

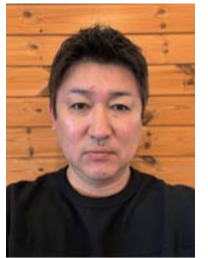
現在、埼玉支部の会員は43名と全国でも最多で、毎偶数月の20日に、定例会を行っております。今年度は、研修会として、病虫害の対策に関する勉強会を8月に計画しており、近年、



福島県支部長

小林 宏治

(株)ダイショーフォレスト



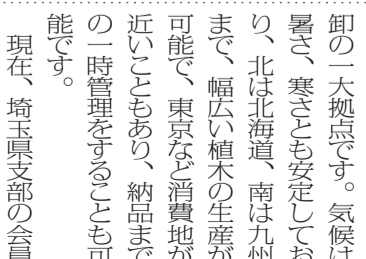
福島県支部長を拜命しております(株)ダイショーフォレストの小林です。福島県支部は私が入会した30年前と比較すると会員数が半数となってしまいました。そ

①福島県支部長を拜命しております(株)ダイショーフォレストの小林です。福島県支部は私が入会した30年前と比較すると会員数が半数となってしまいました。そ

②茨城県支部は、25名会員で構成されております。支部長として支部会員の結束につながる事業を行いたいと考えております。

③茨城県は平坦な農地と温暖な気候に恵まれ、農地面積が非常に広大です。また、首都圏に近い立地から、造園業者やホームセンターなどからの大量・多品種の需要に対してスピーディーに供給できる体制が整っています。

宇賀神緑販(株)さんの里山ワインナーゼリー



課題となっている諸問題について、埼玉県の協力のもと、実施する予定です。

千葉県支部長

高野 直樹

(株)エコライズ



①千葉県支部長の高野直樹と申します。県北部の九十九里平野でシャリンバイ、トベラ、ハマヒサカキなどの潮風に強い樹種のコンテナ栽培をしています。

25年前位は生産・卸しがメインでありましたが、現在は造園施工も手掛けており生産・卸し・施工の3本柱へ特に関心を注いでいます。当社のある立川地区の生産者は各々が特徴を出し、お互いの関係性も良好で、結束力が強い非常に恵まれた地域です。その中で弊社の特色は、様々なお問い合わせのある取引先のニーズに合わせた、多種多様な樹木を取り揃えていることです。徒歩でお客様が圃場見学出来る様に、会社周辺にある調整区域を借りて今までの遠方であった圃場を返還している所があります。

①今期も神奈川県支部長を務めさせていただきますことになりました。よろしくお願ひ致します。

私の住む地域は、各地の生産状況と同じように生産者の高齢化とともに生産物の数量と品種の減少が起きている次第です。そのため自社では、基本に戻り植木の生産に力を入れていまして、支部活動的には2007年国際園芸博覧会のため支部会員一同、協力を整え、本格的に10月から展示場の施工が始まるための準備をしています。来年の会期中には、協会の方々には是非一度、御来場していただきしたいと思います。

①新潟県支部は5社園で構成され、2社が新潟市西区で主に樹木類を、東に隣接する阿賀野市では3社が主にランドカバを生産している状況です。地元でも消費しますが、割合は少なく、多くが県外に出荷する形態です。コロナ禍になるまでは、皆が忙しいと口をそろえていたのを記憶していますが、ここ数年は本当に仕事量が減少しているのを肌で実感しています。

また、毎年引上げられる最低賃金、資材費、加えてパートナーに継続して働いてもらうための社会保障費の充実等、負担ばかり増す厳しい経営環境ですが、忍耐強い県民性を生かし頑張っていく所存です。

②お酒が大好きで仕事帰りのスピードドライは最高です。一日の疲れが感じられて抜けていきます。

今回は全く個人的な趣味でもあり、薪ストーブについても書かせていただきます。もともと、売れなくて伐採処分する植木がもったいないと思い、自宅を新築する際に12年前に導入しました。大切なのは薪をよく乾燥させることで、乾燥が不十分だと薪の水分が気化する際に薪ストーブ内の熱を奪ってしまうので温度が上がらず、煙突のススも溜まりやすいのです。

①この度、愛知県支部長に選任されました(株)祖父江園芸。祖父江嘉恭です。弊社は、稲沢市で祖父の代より植木の生産・卸を営んでおります。

名古屋に近い生産地という特性と、本州の真ん中に在る流通の良さを生かしてなるべく顧客の要望に応えられるよう努力しております。

愛知県支部長として、これまで同様、支部会員相互の親睦を深め、明るく風通しの良い関係性づくりを進めて参ります。

②週末はゴルフに出掛けることが多いですが、最近調子が悪く、逆にストレスになつてきている気がします。

現在、静岡県支部は8社園で活動し、松・マキの仕立物、ポット苗、果樹苗の生産・卸売を行っています。生産量減少という課題に向き合いながら、品質向上や生産体制の強化に努め、業界の魅力発信と次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

②家族に迎えた犬との触れ合いや、子どもの成長を感じる会話が、忙しい日々の中で心をほぐし、前向きな気分へと切り替えてくれております。

弊社は「研究開発型農業カンパニー」を経営理念に掲げ、多岐にわたる分野で農業への挑戦を行っております。その中でも、BS資材の研究および活用については品目ごとに検証を重ねており、センシング技術を用いた自社で開発することで、効果を定量的な指標として可視化し、再現性を高める工夫を行っています。

緑化事業については、全国の産地に共通する課題であると考えておりますが、三重県においても後継者不足による生産量の減少が顕著になってきています。一方で、緑化産業はWell-beingやSDGsの観点からも、今後の社会や地域にとって極めて重要な産業であると認識しています。

このような状況の中で、生産量の減少に歯止めをかけるためには、一つ目として、生産者が安心して生産に取り組める環境を整えること、二つ目として、今後の気候変動を見据え、新たな付加価値や機能を緑化事業に持たせていくことが重要だと考えております。

弊社がこれまで培ってきた研究開発の知見や技術を緑化事業にも応用し、新たな商流の構築とともに、品目そのものの有効性を高めることを目指しています。

②リラックス法といいますが、

かポッドキャストで全国のラジオを聴くことができましてBGMにしてソロの仕事ですと聴いていました。イチ押しは安住紳一郎の日曜天国。同年齢の星ですね。聴いていると52歳人生に奥行きとありますか、懸命に生きた証を作りたいと思います。

兵庫県支部長

勝山 和彦

(株)勝山園

①お世話になります。この当園のある伊丹市内では急激な都市(住宅)化が進みつつあります。植木出荷場の市道も、自動車、軽車両、歩行者の通行等で、出入りが難しい時さえあります。そんな住宅街の中の圃場で、日々、植木の生産・出荷をしています。植木協会会員の方との新たな出会いを通じてこれからも「植木」「生産」「流通」について、さらに理解が深まるように、そして「支部長」としても頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

②ちなみに私のリラックス方法は「睡眠」です。

鳥取県支部長

田宮 慎二

(株)田宮園芸

①金融機関の職種から植木屋になって約20年が経ちま

した。4月から長女の瑞希が入社して、若いスタッフも増えたので一気になんか年齢が32歳に若返りました。また昨年の9月には新事務所が完成したので、より一層頑張っていかなければと身が引き締まる思いです。

②ゴルフ(なかなか上達しない。特にドライバー)はじつくり浸かる。

長風呂(45・46℃の湯にじっくり浸かる)

①新潟県支部は5社園で構成され、2社が新潟市西区で主に樹木類を、東に隣接する阿賀野市では3社が主にランドカバを生産している状況です。地元でも消費しますが、割合は少なく、多くが県外に出荷する形態です。コロナ禍になるまでは、皆が忙しいと口をそろえていたのを記憶していますが、ここ数年は本当に仕事量が減少しているのを肌で実感しています。

また、毎年引上げられる最低賃金、資材費、加えてパートナーに継続して働いてもらうための社会保障費の充実等、負担ばかり増す厳しい経営環境ですが、忍耐強い県民性を生かし頑張っていく所存です。

②お酒が大好きで仕事帰りのスピードドライは最高です。一日の疲れが感じられて抜けていきます。

今回は全く個人的な趣味でもあり、薪ストーブについても書かせていただきます。もともと、売れなくて伐採処分する植木がもったいないと思い、自宅を新築する際に12年前に導入しました。大切なのは薪をよく乾燥させることで、乾燥が不十分だと薪の水分が気化する際に薪ストーブ内の熱を奪ってしまうので温度が上がらず、煙突のススも溜まりやすいのです。

①この度、静岡県支部長に選任されました(株)祖父江園芸。祖父江嘉恭です。弊社は、稲沢市で祖父の代より植木の生産・卸を営んでおります。

名古屋に近い生産地という特性と、本州の真ん中に在る流通の良さを生かしてなるべく顧客の要望に応えられるよう努力しております。

愛知県支部長として、これまで同様、支部会員相互の親睦を深め、明るく風通しの良い関係性づくりを進めて参ります。

②週末はゴルフに出掛けることが多いですが、最近調子が悪く、逆にストレスになつてきている気がします。

現在、静岡県支部は8社園で活動し、松・マキの仕立物、ポット苗、果樹苗の生産・卸売を行っています。生産量減少という課題に向き合いながら、品質向上や生産体制の強化に努め、業界の魅力発信と次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

②家族に迎えた犬との触れ合いや、子どもの成長を感じる会話が、忙しい日々の中で心をほぐし、前向きな気分へと切り替えてくれております。

弊社は「研究開発型農業カンパニー」を経営理念に掲げ、多岐にわたる分野で農業への挑戦を行っております。その中でも、BS資材の研究および活用については品目ごとに検証を重ねており、センシング技術を用いた自社で開発することで、効果を定量的な指標として可視化し、再現性を高める工夫を行っています。

緑化事業については、全国の産地に共通する課題であると考えておりますが、三重県においても後継者不足による生産量の減少が顕著になってきています。一方で、緑化産業はWell-beingやSDGsの観点からも、今後の社会や地域にとって極めて重要な産業であると認識しています。

このような状況の中で、生産量の減少に歯止めをかけるためには、一つ目として、生産者が安心して生産に取り組める環境を整えること、二つ目として、今後の気候変動を見据え、新たな付加価値や機能を緑化事業に持たせていくことが重要だと考えております。

弊社がこれまで培ってきた研究開発の知見や技術を緑化事業にも応用し、新たな商流の構築とともに、品目そのものの有効性を高めることを目指しています。

②リラックス法といいますが、

かポッドキャストで全国のラジオを聴くことができましてBGMにしてソロの仕事ですと聴いていました。イチ押しは安住紳一郎の日曜天国。同年齢の星ですね。聴いていると52歳人生に奥行きとありますか、懸命に生きた証を作りたいと思います。

兵庫県支部長

勝山 和彦

(株)勝山園

①お世話になります。この当園のある伊丹市内では急激な都市(住宅)化が進みつつあります。植木出荷場の市道も、自動車、軽車両、歩行者の通行等で、出入りが難しい時さえあります。そんな住宅街の中の圃場で、日々、植木の生産・出荷をしています。植木協会会員の方との新たな出会いを通じてこれからも「植木」「生産」「流通」について、さらに理解が深まるように、そして「支部長」としても頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

②ちなみに私のリラックス方法は「睡眠」です。

鳥取県支部長

田宮 慎二

(株)田宮園芸

①金融機関の職種から植木屋になって約20年が経ちま

した。4月から長女の瑞希が入社して、若いスタッフも増えたので一気になんか年齢が32歳に若返りました。また昨年の9月には新事務所が完成したので、より一層頑張っていかなければと身が引き締まる思いです。

②ゴルフ(なかなか上達しない。特にドライバー)はじつくり浸かる。

長風呂(45・46℃の湯にじっくり浸かる)

①新潟県支部は5社園で構成され、2社が新潟市西区で主に樹木類を、東に隣接する阿賀野市では3社が主にランドカバを生産している状況です。地元でも消費しますが、割合は少なく、多くが県外に出荷する形態です。コロナ禍になるまでは、皆が忙しいと口をそろえていたのを記憶していますが、ここ数年は本当に仕事量が減少しているのを肌で実感しています。

また、毎年引上げられる最低賃金、資材費、加えてパートナーに継続して働いてもらうための社会保障費の充実等、負担ばかり増す厳しい経営環境ですが、忍耐強い県民性を生かし頑張っていく所存です。

②お酒が大好きで仕事帰りのスピードドライは最高です。一日の疲れが感じられて抜けていきます。

今回は全く個人的な趣味でもあり、薪ストーブについても書かせていただきます。もともと、売れなくて伐採処分する植木がもったいないと思い、自宅を新築する際に12年前に導入しました。大切なのは薪をよく乾燥させることで、乾燥が不十分だと薪の水分が気化する際に薪ストーブ内の熱を奪ってしまうので温度が上がらず、煙突のススも溜まりやすいのです。

①この度、静岡県支部長に選任されました(株)祖父江園芸。祖父江嘉恭です。弊社は、稲沢市で祖父の代より植木の生産・卸を営んでおります。

名古屋に近い生産地という特性と、本州の真ん中に在る流通の良さを生かしてなるべく顧客の要望に応えられるよう努力しております。

愛知県支部長として、これまで同様、支部会員相互の親睦を深め、明るく風通しの良い関係性づくりを進めて参ります。

②週末はゴルフに出掛けることが多いですが、最近調子が悪く、逆にストレスになつてきている気がします。

現在、静岡県支部は8社園で活動し、松・マキの仕立物、ポット苗、果樹苗の生産・卸売を行っています。生産量減少という課題に向き合いながら、品質向上や生産体制の強化に努め、業界の魅力発信と次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

②家族に迎えた犬との触れ合いや、子どもの成長を感じる会話が、忙しい日々の中で心をほぐし、前向きな気分へと切り替えてくれております。

弊社は「研究開発型農業カンパニー」を経営理念に掲げ、多岐にわたる分野で農業への挑戦を行っております。その中でも、BS資材の研究および活用については品目ごとに検証を重ねており、センシング技術を用いた自社で開発することで、効果を定量的な指標として可視化し、再現性を高める工夫を行っています。

緑化事業については、全国の産地に共通する課題であると考えておりますが、三重県においても後継者不足による生産量の減少が顕著になってきています。一方で、緑化産業はWell-beingやSDGsの観点からも、今後の社会や地域にとって極めて重要な産業であると認識しています。

このような状況の中で、生産量の減少に歯止めをかけるためには、一つ目として、生産者が安心して生産に取り組める環境を整えること、二つ目として、今後の気候変動を見据え、新たな付加価値や機能を緑化事業に持たせていくことが重要だと考えております。

弊社がこれまで培ってきた研究開発の知見や技術を緑化事業にも応用し、新たな商流の構築とともに、品目そのものの有効性を高めることを目指しています。

②リラックス法といいますが、

かポッドキャストで全国のラジオを聴くことができましてBGMにしてソロの仕事ですと聴いていました。イチ押しは安住紳一郎の日曜天国。同年齢の星ですね。聴いていると52歳人生に奥行きとありますか、懸命に生きた証を作りたいと思います。

兵庫県支部長

勝山 和彦

(株)勝山園

①お世話になります。この当園のある伊丹市内では急激な都市(住宅)化が進みつつあります。植木出荷場の市道も、自動車、軽車両、歩行者の通行等で、出入りが難しい時さえあります。そんな住宅街の中の圃場で、日々、植木の生産・出荷をしています。植木協会会員の方との新たな出会いを通じてこれからも「植木」「生産」「流通」について、さらに理解が深まるように、そして「支部長」としても頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

②ちなみに私のリラックス方法は「睡眠」です。

鳥取県支部長

田宮 慎二

(株)田宮園芸

①金融機関の職種から植木屋になって約20年が経ちま

した。4月から長女の瑞希が入社して、若いスタッフも増えたので一気になんか年齢が32歳に若返りました。また昨年の9月には新事務所が完成したので、より一層頑張っていかなければと身が引き締まる思いです。

②ゴルフ(なかなか上達しない。特にドライバー)はじつくり浸かる。

長風呂(45・46℃の湯にじっくり浸かる)

①新潟県支部は5社園で構成され、2社が新潟市西区で主に樹木類を、東に隣接する阿賀野市では3社が主にランドカバを生産している状況です。地元でも消費しますが、割合は少なく、多くが県外に出荷する形態です。コロナ禍になるまでは、皆が忙しいと口をそろえていたのを記憶していますが、ここ数年は本当に仕事量が減少しているのを肌で実感しています。

また、毎年引上げられる最低賃金、資材費、加えてパートナーに継続して働いてもらうための社会保障費の充実等、負担ばかり増す厳しい経営環境ですが、忍耐強い県民性を生かし頑張っていく所存です。

②お酒が大好きで仕事帰りのスピードドライは最高です。一日の疲れが感じられて抜けていきます。

今回は全く個人的な趣味でもあり、薪ストーブについても書かせていただきます。もともと、売れなくて伐採処分する植木がもったいないと思い、自宅を新築する際に12年前に導入しました。大切なのは薪をよく乾燥させることで、乾燥が不十分だと薪の水分が気化する際に薪ストーブ内の熱を奪ってしまうので温度が上がらず、煙突のススも溜まりやすいのです。

①この度、静岡県支部長に選任されました(株)祖父江園芸。祖父江嘉恭です。弊社は、稲沢市で祖父の代より植木の生産・卸を営んでおります。

名古屋に近い生産地という特性と、本州の真ん中に在る流通の良さを生かしてなるべく顧客の要望に応えられるよう努力しております。

愛知県支部長として、これまで同様、支部会員相互の親睦を深め、明るく風通しの良い関係性づくりを進めて参ります。

②週末はゴルフに出掛けることが多いですが、最近調子が悪く、逆にストレスになつてきている気がします。

現在、静岡県支部は8社園で活動し、松・マキの仕立物、ポット苗、果樹苗の生産・卸売を行っています。生産量減少という課題に向き合いながら、品質向上や生産体制の強化に努め、業界の魅力発信と次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

②家族に迎えた犬との触れ合いや、子どもの成長を感じる会話が、忙しい日々の中で心をほぐし、前向きな気分へと切り替えてくれております。

弊社は「研究開発型農業カンパニー」を経営理念に掲げ、多岐にわたる分野で農業への挑戦を行っております。その中でも、BS資材の研究および活用については品目ごとに検証を重ねており、センシング技術を用いた自社で開発することで、効果を定量的な指標として可視化し、再現性を高める工夫を行っています。

緑化事業については、全国の産地に共通する課題であると考えておりますが、三重県においても後継者不足による生産量の減少が顕著になってきています。一方で、緑化産業はWell-beingやSDGsの観点からも、今後の社会や地域にとって極めて重要な産業であると認識しています。

このような状況の中で、生産量の減少に歯止めをかけるためには、一つ目として、生産者が安心して生産に取り組める環境を整えること、二つ目として、今後の気候変動を見据え、新たな付加価値や機能を緑化事業に持たせていくことが重要だと考えております。

弊社がこれまで培ってきた研究開発の知見や技術を緑化事業にも応用し、新たな商流の構築とともに、品目そのものの有効性を高めることを目指しています。

②リラックス法といいますが、

かポッドキャストで全国のラジオを聴くことができましてBGMにしてソロの仕事ですと聴いていました。イチ押しは安住紳一郎の日曜天国。同年齢の星ですね。聴いていると52歳人生に奥行きとありますか、懸命に生きた証を作りたいと思います。

兵庫県支部長

勝山 和彦

(株)勝山園

①お世話になります。この当園のある伊丹市内では急激な都市(住宅)化が進みつつあります。植木出荷場の市道も、自動車、軽車両、歩行者の通行等で、出入りが難しい時さえあります。そんな住宅街の中の圃場で、日々、植木の生産・出荷をしています。植木協会会員の方との新たな出会いを通じてこれからも「植木」「生産」「流通」について、さらに理解が深まるように、そして「支部長」としても頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

②ちなみに私のリラックス方法は「睡眠」です。

鳥取県支部長

田宮 慎二

(株)田宮園芸

①金融機関の職種から植木屋になって約20年が経ちま

した。4月から長女の瑞希が入社して、若いスタッフも増えたので一気になんか年齢が32歳に若返りました。また昨年の9月には新事務所が完成したので、より一層頑張っていかなければと身が引き締まる思いです。

②ゴルフ(なかなか上達しない。特にドライバー)はじつくり浸かる。

長風呂(45・46℃の湯にじっくり浸かる)

①新潟県支部は5社園で構成され、2社が新潟市西区で主に樹木類を、東に隣接する阿賀野市では3社が主にランドカバを生産している状況です。地元でも消費しますが、割合は少なく、多くが県外に出荷する形態です。コロナ禍になるまでは、皆が忙しいと口をそろえていたのを記憶していますが、ここ数年は本当に仕事量が減少しているのを肌で実感しています。

また、毎年引上げられる最低賃金、資材費、加えてパートナーに継続して働いてもらうための社会保障費の充実等、負担ばかり増す厳しい経営環境ですが、忍耐強い県民性を生かし頑張っていく所存です。

②お酒が大好きで仕事帰りのスピードドライは最高です。一日の疲れが感じられて抜けていきます。

今回は全く個人的な趣味でもあり、薪ストーブについても書かせていただきます。もともと、売れなくて伐採処分する植木がもったいないと思い、自宅を新築する際に12年前に導入しました。大切なのは薪をよく乾燥させることで、乾燥が不十分だと薪の水分が気化する際に薪ストーブ内の熱を奪ってしまうので温度が上がらず、煙突のススも溜まりやすいのです。

①この度、静岡県支部長に選任されました(株)祖父江園芸。祖父江嘉恭です。弊社は、稲沢市で祖父の代より植木の生産・卸を営んでおります。

名古屋に近い生産地という特性と、本州の真ん中に在る流通の良さを生かしてなるべく顧客の要望に応えられるよう努力しております。

愛知県支部長として、これまで同様、支部会員相互の親睦を深め、明るく風通しの良い関係性づくりを進めて参ります。

②週末はゴルフに出掛けることが多いですが、最近調子が悪く、逆にストレスになつてきている気がします。

現在、静岡県支部は8社園で活動し、松・マキの仕立物、ポット苗、果樹苗の生産・卸売を行っています。生産量減少という課題に向き合いながら、品質向上や生産体制の強化に努め、業界の魅力発信と次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

②家族に迎えた犬との触れ合いや、子どもの成長を感じる会話が、忙しい日々の中で心をほぐし、前向きな気分へと切り替えてくれております。

弊社は「研究開発型農業カンパニー」を経営理念に掲げ、多岐にわたる分野で農業への挑戦を行っております。その中でも、BS資材の研究および活用については品目ごとに検証を重ねており、センシング技術を用いた自社で開発することで、効果を定量的な指標として可視化し、再現性を高める工夫を行っています。

緑化事業については、全国の産地に共通する課題であると考えておりますが、三重県においても後継者不足による生産量の減少が顕著になってきています。一方で、緑化産業はWell-beingやSDGsの観点からも、今後の社会や地域にとって極めて重要な産業であると認識しています。

このような状況の中で、生産量の減少に歯止めをかけるためには、一つ目として、生産者が安心して生産に取り組める環境を整えること、二つ目として、今後の気候変動を見据え、新たな付加価値や機能を緑化事業に持たせていくことが重要だと考えております。

弊社がこれまで培ってきた研究開発の知見や技術を緑化事業にも応用し、新たな商流の構築とともに、品目そのものの有効性を高めることを目指しています。

②リラックス法といいますが、

かポッドキャストで全国のラジオを聴くことができましてBGMにしてソロの仕事ですと聴いていました。イチ押しは安住紳一郎の日曜天国。同年齢の星ですね。聴いていると52歳人生に奥行きとありますか、懸命に生きた証を作りたいと思います。

兵庫県支部長

勝山 和彦

(株)勝山園

①お世話になります。この当園のある伊丹市内では急激な都市(住宅)化が進みつつあります。植木出荷場の市道も、自動車、軽車両、歩行者の通行等で、出入りが難しい時さえあります。そんな住宅街の中の圃場で、日々、植木の生産・出荷をしています。植木協会会員の方との新たな出会いを通じてこれからも「植木」「生産」「流通」について、さらに理解が深まるように、そして「支部長」としても頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

②ちなみに私のリラックス方法は「睡眠」です。

鳥取県支部長

田宮 慎二

(株)田宮園芸

①金融機関の職種から植木屋になって約20年が経ちま

した。4月から長女の瑞希が入社して、若いスタッフも増えたので一気になんか年齢が32歳に若返りました。また昨年の9月には新事務所が完成したので、より一層頑張っていかなければと身が引き締まる思いです。

②ゴルフ(なかなか上達しない。特にドライバー)はじつくり浸かる。

長風呂(45・46℃の湯にじっくり浸かる)

①新潟県支部は5社園で構成され、2社が新潟市西区で主に樹木類を、東に隣接する阿賀野市では3社が主にランドカバを生産している状況です。地元でも消費しますが、割合は少なく、多くが県外に出荷する形態です。コロナ禍になるまでは、皆が忙しいと口をそろえていたのを記憶していますが、ここ数年は本当に仕事量が減少しているのを肌で実感しています。

また、毎年引上げられる最低賃金、資材費、加えてパートナーに継続して働いてもらうための社会保障費の充実等、負担ばかり増す厳しい経営環境ですが、忍耐強い県民性を生かし頑張っていく所存です。

②お酒が大好きで仕事帰りのスピードドライは最高です。一日の疲れが感じられて抜けていきます。

今回は全く個人的な趣味でもあり、薪ストーブについても書かせていただきます。もともと、売れなくて伐採処分する植木がもったいないと思い、自宅を新築する際に12年前に導入しました。大切なのは薪をよく乾燥させることで、乾燥が不十分だと薪の水分が気化する際に薪ストーブ内の熱を奪ってしまうので温度が上がらず、煙突のススも溜まりやすいのです。

①この度、静岡県支部長に選任されました(株)祖父江園芸。祖父江嘉恭です。弊社は、稲沢市で祖父の代より植木の生産・卸を営んでおります。

名古屋に近い生産地という特性と、本州の真ん中に在る流通の良さを生かしてなるべく顧客の要望に応えられるよう努力しております。

愛知県支部長として、これまで同様、支部会員相互の親睦を深め、明るく風通しの良い関係性づくりを進めて参ります。

②週末はゴルフに出掛けることが多いですが、最近調子が悪く、逆にストレスになつてきている気がします。

現在、静岡県支部は8社園で活動し、松・マキの仕立物、ポット苗、果樹苗の生産・卸売を行っています。生産量減少という課題に向き合いながら、品質向上や生産体制の強化に努め、業界の魅力発信と次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

②家族に迎えた犬との触れ合いや、子どもの成長を感じる会話が、忙しい日々の中で心をほぐし、前向きな気分へと切り替えてくれております。

弊社は「研究開発型農業カンパニー」を経営理念に掲げ、多岐にわたる分野で農業への挑戦を行っております。その中でも、BS資材の研究および活用については品目ごとに検証を重ねており、センシング技術を用いた自社で開発することで、効果を定量的な指標として可視化し、再現性を高める工夫を行っています。

緑化事業については、全国の産地に共通する課題であると考えておりますが、三重県においても後継者不足による生産量の減少が顕著になってきています。一方で、緑化産業はWell-beingやSDGsの観点からも、今後の社会や地域にとって極めて重要な産業であると認識しています。

①前年度まで青年部会長を務めさせていただき、全国の多くの皆様との貴重な縁を培うことができました。この繋がりを原動力に、新体制の支部活動を盛り上げてまいります。

現在、業界全体で生産物の減少が大きな課題となっています。来年に控える国際園芸博覧会(GREEN EXPO 2027)という大きな好機を捉え、魅力ある高品質な植木を安定して世に送り出せるよう、地域の生産体制の強化と基盤づくりに一層注力していく所存です。会員の皆様とともに一歩ずつ歩みを進めてまいります。

②家族と過ごすアウトドアの時間です。夏は海でのSUP、秋はキャンプ、冬はスノーボードやゲレンデ整備(圧雪車・ピステン)の運転など、四季を通じて自然の中でリフレッシュしています。



バックカントリーでスノーボード

広島県支部長

倉本 政信

(株)柏松園



広島県支部長の(株)柏松園、倉本政信でございます。

す。

会社は昨年事業承継を完了し、現在システム導入による業務改善に取り組んでおります。緑の取り扱いとしては、流行りものを追いかけてつづ、定番物の在庫を切らさないよう仕入れております。また、会活動としては、まずは自分を知っていただくため、積極的に会員仲間の皆様と情報交換していきたくと思っております。宜しくお願いいたします。

趣味はロッククライミング、登山、キャンプ、温泉めぐりです。最近では推し活として、娘のバスケットボール観戦を仕事のモチベーションとしております！



徳島県支部長

高橋 誠

(株)高橋魁春園



私の住んでいる徳島県は、一級河川である吉野川

の恩恵を受けて河川流域では肥沃な土壌により、春ニンジンは日本一の出荷量を誇ります。緑の取り扱いとしては、流行りものを追いかけてつづ、定番物の在庫を切らさないよう仕入れております。また、会活動としては、まずは自分を知っていただくため、積極的に会員仲間の皆様と情報交換していきたくと思っております。宜しくお願いいたします。

趣味はロッククライミング、登山、キャンプ、温泉めぐりです。最近では推し活として、娘のバスケットボール観戦を仕事のモチベーションとしております！

そんな厳しい状況ではありますが、前を向いて少しずつですが、歩みを進めています。自分で4代目になるのですが、先代の父の代の時は地元8割の売上を占めていたのですが、人口も60万人足らずとなり、公共民間需要の縮小により厳しい状況が続いています。

そんな未来への危機感もあり、10年ほど前から協会の仲間の協力もあり県外にシフトしてきました。父の代の時は、緑化樹の生産が主力でしたが、今はスノーインサマー、メディアカルティーツリー、カップパグロ、シルバートーツリー、コストバンクシア、などオーソープランツを中心としたラインナップになりました。

コロナ前は露地物のコンテナも3万本程度やっていたのですが、数年前に急に激に売れなくなり生産中止

していましたが、来期には生産を再開すべく苗木をかなり仕込んでいます。その際には皆さま宜しくお願いいたします。

実はコロナのこの4年間で危機感から始めたのが情報発信です。その頃に始めたインスタグラムは32万人、Facebookは1.6万人、YouTubeは1.2万、TikTokは1.7万、Pinterestは1万、総フォロワー40万人を超えるメディアに成長する事が出来ました。

そのおかげで、中小企業家同友会などの経営者団体からのセミナー依頼、企業案件、オンラインショップにも参入し今や経営の柱になりました。今年にはオンラインサロンにも挑戦します。

生産の方でも毎年数品種ではありますが、新しい品種の生産にもチャレンジしています。経営には課題は付き物ですが、どんな時も創業の精神でもある、社名の由来でもある新しいコトに先駆けて取り組み、チャレンジ精神を忘れず邁進してまいります。

愛媛県支部長

西坂 哲紀

(株)大西屋



①愛媛県支部では、現在2社園のみになっており、植木生産は激減といった状況にあります。地方都市として

て公共、民間とも需要の減少が見込まれています。そういった中で、どうすれば植物の魅力を生かす、需要を増やすことができるのでしょうか？今は結果を出す必要はない時代です。そういう時代だからこそ、種子から成木まで何年もかかる植物、樹木の大切さを伝えていきたいです。

私自身は日本植木協会の青年部会時代からお世話になりました。30年が経ちました。たくさん勉強もさせていただきました。楽しんでいただきたいと思います。

今後は協会、そして日本の植木業界に少しでも恩返しができるよう「うえきの魅力」を伝えられるように頑張りたいと思います。植物を通じて親子、そして祖母、孫との関わり、時間を共有することが植物、緑化の新たな需要を作ることではないかと考えています。

②生牡蠣をいただくこと。また高知県は森林率が日本一で緑の山々がすぐ近くにあり、雄大な太平洋もあります。ぜひ一度高知の歴史や豊かな自然を見にお越しください。

高知県支部長

山中 正道

東洋電化工業(株)園芸事業所



(株)岡宗農園



島井植物センター

植木協会の福岡県支部長を仰せつかりました山崎敬明と申します。社会情勢や生活環境が激変する中、時代に遅れないよう社会の貢献者として緑化の役割を改めて再確認させられる毎日です。

福岡県支部では、36社園が在籍しており年に6回の定例会をはじめとする会合を開き、日々の情報交換等に努めています。特にここ数年は、先輩方の豊富な経験値と若手の斬新なスタイルの融合を図り、この激動の時代を共に切り開いて行ければと考えています。そんな中、2027年に開催されます国際園芸博覧会を業界にとって、まさにこれからの時代に対する緑の有りようを示す重要な機会だと思っています。開催にあたっては、長期に亘り本部理事役員の方々のご苦労の基、盛大にまた会員相互の更なる飛躍の道しるべと成り得る事を祈念してまいります。

さて昨年は連続テレビ小説「あっぱれ」効果で、弊社の地元の香美市(やなせ)の観光客が大変賑わい、さらに再来年には大河ドラマ「マジョリカ」の放送が決まりました。

また高知県は森林率が日本一で緑の山々がすぐ近くにあり、雄大な太平洋もあります。ぜひ一度高知の歴史や豊かな自然を見にお越しください。

②私のリラックス方法は自然を眺めることです。

福岡県支部長

山崎 敬明

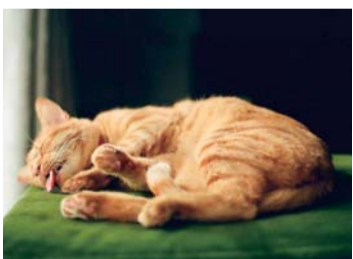
(株)山崎瑞松園



今年度より(一社)日本

的に参加しており、今後もしっかりと所存でございます。ところで大分の有名人といえば、指原利乃、財前直見、酒見緑化園、森七菜、ユースケ・サンタマリア、キョタキナーセリ、南こうせつ、大分植木といったところですね。是非皆さま遊びに来てください。誰かに会えます(笑)

②私の好きな事は猫の目や二をこころごと、ゴルフ、子どもの野球を観る、筋トレ、ポートルースです。



宮崎県支部長

甲斐 郁

日本ブランドカー(株)

①宮崎県支部は、弊社1社ですので、宮崎県支部の活動は残念ながら行っておりませんので、宮崎県の魅力を簡単に紹介したいと思います。

豊かな自然と温暖な気候に恵まれており、豊富に収穫される食材の宝庫です。宮崎と言えば、チキン南蛮、みやまき地頭鶏みやまきじこっこ、宮崎牛、太陽のタマゴ(マンゴー)、日向夏(ヒュウガナツ)、真辛米(マサキマイ)、完熟さんかんたまたま等が有名です。

授業等の協会事業にも積極

Advertisement for HAKK (早瀬工業株式会社) featuring various horticultural products and services. Includes QR codes for website and Amazon, and contact information: TEL 0868-26-1166, FAX 0868-26-3991.

また、極上グルメ以外にも、記紀神話(古事記・日本書紀)の舞台として「日本発祥の地」にふさわしい神秘的な歴史を持つことが最大の特長です。江田神社、鶴戸神社、天岩戸神社等、絶景ポイントも沢山ございますので、ぜひとも宮崎県にお越しください。

②私のリラックス方法は、シルクアイトムを使用することです。心身のリラックスをして、ストレスを軽減するような気持ちになります。

今年度は鹿児島県支部会が病弱や大怪我をしておりますので、皆様も熱中症対策や健康診断、圃場作業での安全管理などに注意していただきます。本年度も会員の皆様、よろしくお願致します。

また、極上グルメ以外にも、記紀神話(古事記・日本書紀)の舞台として「日本発祥の地」にふさわしい神秘的な歴史を持つことが最大の特長です。江田神社、鶴戸神社、天岩戸神社等、絶景ポイントも沢山ございますので、ぜひとも宮崎県にお越しください。

②私のリラックス方法は、シルクアイトムを使用することです。心身のリラックスをして、ストレスを軽減するような気持ちになります。

今年度は鹿児島県支部会が病弱や大怪我をしておりますので、皆様も熱中症対策や健康診断、圃場作業での安全管理などに注意していただきます。本年度も会員の皆様、よろしくお願致します。

ルポ

シリーズ 社園さん紹介

No.33

(株)備藤園

埼玉県(川口市)



左上から備藤貴大さん、社長の備藤泰充さん、泰充さんの奥様の淳子さん、左下から貴大さんの奥様の絢音さん、愛犬のミミちゃん、吉田さん、小川さん、福島さん

伝統を「効率」と「信頼」でアップデートする都市農業

東川口駅から徒歩2分の都市化が進む街にある「備藤園」。かつては路地栽培を展開していたが、先代の逝去を機に、「路地」から「ポット生産」へと大きく舵を切った社長の備藤泰充さんと、自ら全国の産地やアメリカを巡り、大手造園会社での経験を経て帰農した備藤貴大さんの親子の経営哲学をご紹介します。



社長の備藤泰充さん



備藤貴大さん



貴大さん：まさに精神修行でした！現地では地元のアメリカ人が住むシェアハウスで暮らしながら、ワーカールのメキシコ人たちと一緒に働きました。この経験を通じて不慣れな環境でも自分で考えて生き抜く「精神的タフさ」が身についたと思っています。

■就職先企業での6年半。「全行程」が繋がった なぜ、すぐ家業に戻らず、住友林業緑化(株)に就職されたのですか？

貴大さん：「自分が作ったものが、どこで使われて、どういう人が買って、どういう人が植えるのか」。その流れを知りたかったんです。住林さんは、植木を含む造園資材の卸から、造園工事まで総合的な会社ですから、一学べると思いました。

ここで6年半、働かせてもらった経験は、今の僕にとって計り知れない糧となっています。卸屋さんや造園屋さんの苦労も分かるからこそ、期待に応えようと責任感が生まれます。

■「路地」から「ポット」へ。都市農業の生き残り戦略 経営スタイルを「ポット生産」に切り替えた背景は？

泰充さん：約13年前、私の父が亡くなる頃は、千葉の野田市に2ha半も借りて路地物を作っていました。全部お返ししてこの屋敷面積だけで勝負することにしました。売上は一時落ちたけど、ポットなら「回転」でカバーできる。路地だと根巻きは1人1日300本が限界だけど、ポットなら1日に3,000本から5,000本出荷することも可能です。

貴大さん：都市部の農家は「回転率」が肝心です。挿し木から販売まで「3年1サイクルのルーティン」を確立しています。僕が戻ってから、さらにポットの面積も1.5倍に増やして効率を上げています。

泰充さん：お金を貯めてはコツコツと井戸を2本掘り、自動灌水を整備してきました。水が足りない時は私と妻でホースを持って手でやってきました。植物を見て「あ、ちょっと苦しそうな」と感じる観察眼、これが一番大事なんです。

■欲張らない「8割生産」が心にゆとりを生む 備藤園さんの経営哲学、「ムダ・ムラ・ムリ」を省くというお話も非常に印象的です。

泰充さん：自分の能力のあえて「8分目」の生産に抑えるんです。沢山作ると必ずロスが出るし、管理が疎かになって仕事が荒くなります。8分目に抑えることで心に余裕ができ、植物を観察する時間が生まれる。これが「ムダな仕事をしない」一番のコツです。

貴大さん：父はよく「ムダな仕事は作るな」と言います。集中して仕事をして、夕方には仕事を切り上げる。土日も休み、趣味のゴルフを楽しむ、そんな父の姿を見てきました。



泰充さん：先代は「夜なべ」を美德としましたが、私は反対です。自分の時間を大切に、フラットな状態で冷静な判断をしたいです。経営を広い視野で見ると、この「ゆとり」が不可欠なんです。

●具体的な生産状況は？

貴大さん：生産の主力がドウダンツツジ（H30～50cm規格が強み）、サツキツツジ、オオムラサキツツジ、イヌツゲ、アセビ（試験中）です。地元では「ドウダンツツジの備藤園」と認識されていますが、多品種少量ではなく、樹種を絞って大量に、高品質なものを安定供給し続けること。規格を常に切らず在庫を持ち、お客様の期待に応え続ける。この「信用」が最大の武器です。

■従業員さんの声——「植物の成長」を喜びに 現場のお仕事で、どんなところに楽しさを感じますか？



吉田知子さん

吉田さん：出荷補助や植え替え、除草などが中心ですが、小さな苗が大きくなって花が咲き、紅葉していく過程を「子どものように」見守れるのが、この仕事の一番の楽しさです。以前、私たちの育てたドウダンツツジが、都内のオフィスビルに植えられていると聞いて見に行きました。都心のビル街で元気に育っているのを見ると、「頑張ってるね」と、誇らしい気持ちになりました。

泰充さん&貴大さん：うちの会社はパートさんで回っています。本当に感謝しかありません！

■将来展望：圃場を「回転」と「挑戦」

●最後に、今後の展望をお聞かせください。

貴大さん：まずは今の圃場をしっかり「回転」させていくことです。今後は、主力樹種を守りつつ、アセビや常緑低木の品種など、環境の変化に合わせた新しい樹種にも試験的に取り組んでいきたいです。

最近、Instagramでの情報発信にも力を入れていますので、ぜひ覗いてみてください。

お客様に「困ったらまず備藤園に」と言っていただけの農園であり続けたいと思います！



株備藤園の Instagram

取材感想：玄関先にある樹齢数百年という「黄金キャラボク」や「しだれ紅葉」の圧倒的な美しさに触れ、伝統と革新が共存する素晴らしい空間だと感じました。



黄金キャラボク



シダレモミジ

■「親父の背中を追う」時代じゃない 社長の泰充さんから貴大さんへの代替わりが非常にスピーディーでしたね？

泰充さん：うちは、12代か13代は続いている農家です。息子の貴大が戻ってきたのは2年半前。住友林業緑化(株)で6年半、営業の現場で様々な経験を積んでまいりました。だから私は、戻ってきて「親父の背中を見て3年、5年修行しろ」なんて、今の時代には合わないと思ったんです。

●すぐ代替わりだったそうですね。

泰充さん：はい。3ヶ月間、畑で働く姿を見て、貴大なら出来ると判断しました。すぐに協会の代表者名義も変えて、青年部にも入れていただきました。若い時の人脈は一生の財産になるし、経営者としての信用は、外で採まれてこそ養われると思ったからです。

貴大さん：すぐに責任ある立場を任せてもらったのは、父の経営判断だと感謝しています。父から「外に出て交流してこい、あとは自分で稼げ」と。今は父と良い距離感で仕事ができています。

■学生時代、現場と産地をその目で見た 「4年間の探究」

●貴大さんは、家業を継ぐと昔から決心していたのですか？

貴大さん：最終的に戻るとは決めていましたが、中身をちゃんと知りたかったんです。大学(東京農大)の4年間は、造園会社でずっとアルバイトをして、植栽の工事や管理、現場の清掃等をやらせていただきました。そこで植木を植えながら、「この木はどこからきて、誰が育てているんだろう？」と気になり始めたんです。それで大学3年生の夏休みに、1ヶ月掛けて一人で全国の産地を回りました。

●一人で!? どちらへ？

貴大さん：三重の鈴鹿、愛知の稲沢、京都、福岡の久留米、そして鹿児島島の水まで、青春18きっぷやレンタカーを利用して全国の産地を回りました。事前にアポイントを取ってご案内いただいたり、時には急なお願いにもかかわらず見学させていただいたりしました。地域ごとの特色ある生産方法に触れ、「こうした生産者の方々の営みがあってこそ現場が成り立っているのだな」と、肌で深く実感いたしました。

■アメリカでの精神修行

●その後、アメリカにも行かれたのですね。

貴大さん：大学時に海外研修プログラムを利用して、1年間オレゴン州の農場で働きました。広大な敷地をゴルフカート等で移動し、効率化された生産現場を肌で学ぶことができたのは大きな経験でした。

泰充さん：息子ながら偉いと思ったのは、仕送りも頼まず、月700ドル程のお給料の中で家賃と食費をやりくりして、自炊して頑張ってたことですね。

自生は、東北地方南部以南の本州、四国、九州の主に太平洋側、韓国南部で、変種のエゾアジサイは、北海道南部、本州(奥羽から山陰)の日本海側、佐渡島で、両方を合わせるとほぼ全国に分布します。ガクアジサイより全体に小形ですが、大きい品種も存在します。一番の特徴は葉に光沢が無いことです。シーボルトの時代から、ガクアジサイとの交雑種も育種されています。



※ナショナルブランド コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

連載「多肉・珍奇植物」

第18回 サボテンのようにサボテンにあらず、柱型多肉ユーフォルビア／普及種から超珍品まで

東京都市大学環境学部教授 飯島 健太郎



◆プロフィール
東京都市大学環境学部教授。桐蔭横浜大学工学部専任講師、同医学部准教授を経て現職。博士(農学)。日本造園学会賞/研究論文部門受賞、東京農業大学造園大賞受賞。著書:『新しい都市緑化・ガーデニング材料/多肉植物』(ソフトサイエンス社)、『サボテン大好き』(講談社)、『多肉植物の名前400がよくわかる図鑑』(主婦と生活社)、『サボテン全書』(監修、グラフィック社)、『多肉植物全書』(監修、グラフィック社)など。

園芸店やホームセンターのサボテンコーナーに陳列されている柱サボテン、直立しつつ複数の枝を備える様は、卓上サイズながらも自生地にそびえ立つサボテンの風景を彷彿とさせてくれる。しかしその多くはサボテンではない。観葉植物のポインセチアや野草のハツキソウを含むトウダイグサ科ユーフォルビア属の仲間である。本属は、熱帯から温帯にかけて広く分布し、2000種以上が知られる大所帯である。このうちアフリカ大陸を中心に多肉ユーフォルビアが存在し、乾燥した地域に適応を重ねて、サボテンのような姿に収れん進化をとげた。そのトゲは葉が退化したものではなく表皮が発達したものであり、サボテンのような絢爛豪華な開花は見せず、極小さな花と思われるものは花弁ではなく苞葉であったり、枝を傷つけるとジテルペンエステルを含む毒性のある白い乳液状の樹液を生ずるなど、サボテンとは異なる特徴をもつ。

サボテン・多肉植物マニアに愛好されており、サボテン中心の戦前のカタログにも脇役ながら名を連ねている(写真1)。「ハナキリン」、「タイショウキリン」、「ソテツキリン」、「ベニキリン」、「ハッカクキリン」、「キリンカク」など、少なからず「キリン(麒麟)」を据えた和名が当てられており、その幹や刺などを中国の霊獣に見立てたことに由来する。

グーグルトレンドによる「ユーフォルビア」の検索傾向からは近年にかけての感心の高まりが認められ、いわばコロナ禍以降の観葉植物ブームにも関連していると考えられる(図1)。また「多肉ユーフォルビア」では、本格的に珍奇植物ブームが到来した時期と一致する2010年代後半から昨今まで顕著な検索傾向が認められる(図2)。多肉ユーフォルビアには柱型、玉型、塊根タイプ、タコ物と言われるものなど多様なフォルムがあり、珍奇植物市場にもしばしば登場する。ここでは、普及種から珍奇種まで包含する柱型多肉ユーフォルビアからいくつか紹介したい。



写真1. 仙人掌名鑑、京楽園昭和8年発行／ユーフォルビア類の記載が見られる

まず大型の観葉植物として柱サボテンの如く最も流通しているのが、ダイウンカク(大雲閣/Euphorbia acurensis)である(写真2)。原産地は東アフリカであり、乾燥した低木地や岩や砂の多い丘陵地に自生する。樹高は約300~1000cmに達する。わが国の流通においては卓上サイズのみならず、100cm前後のものがしばしば見られる。3~4本の稜を持つ幹が直立し、稜には等間隔にトゲ状の突起が並ぶ。盛んに枝を生ずるので株立ちの風格があり、配植材料として積極的に活用したい。

ハルコマ(春駒/E. pseudocactus)は、種小名がプセウドカクタス、つまり「偽りのサボテン」、「サ

ボテン擬き」の意であり、柱サボテンのような姿に由来する。ライトグリーンに幹に特徴的なトラ柄を帯びる(写真3)。4~5稜の幹は、直線的に伸長したり、所々くびれて成長したりする。やや強いトゲは2本ずつ、直線的に並ぶ。原産地は南アフリカ。

タイショウキリン(大正キリン/E. officinarum)は、春駒とともにわが国で古くから愛好されてきた。多肉ユーフォルビアの中では珍しくモロッコ原産である。7~8稜のボリューム感のある緑色の幹と稜に沿った白っぽいライン、そしてトゲはV字に生ずることなどが特徴(写真4)。成長と共に多くの枝を出し低木状に育つ。

コウサイカク(紅彩閣/E. enopla)は、鮮やかな赤色の太いトゲに覆われているのが特徴であり(写真5)、和名の由来になっている。柱型ユーフォルビアの中では比較的小型。円筒状の茎は太く、6~7稜。3~5cm程度の小さなサイズでも旺盛に子株を発生させて群生株を形成する。原産地は南アフリカ ケープ州。

本属の中で1、2を争う珍奇種とされているのが、ユーフォルビア・アブデルクリ(E. abdelkuri)であり、イエメン沖にあるソコトラ諸島の一部アブデルクレーリー島

(Abd al Kuri)が原産地である。標高250~400m程度の石灰岩質の丘陵斜面に自生する。その外観は、刺が無く灰青色を呈する6稜の円筒形。小型ながら荒々しさとともに鎧をまとったような姿である。ディテールに目を向けると繊細な縞模様や粉を帯びた質感がある(写真6)。成長は非常に遅く栽培も難しいため、しばしば接ぎ木で栽培される。成熟すると基部から枝を生じて群生する。

柱型多肉ユーフォルビアは、正にサボテンの風情を醸し出す種類も多く、その姿やサイズを生かして、鉢物のみならずドライガーデン的な活用を模索したい。比較的成長が早く、ダイウンカクのように人の背丈ほどのサイズの増産も種類によっては可能である。ただし関東以西の温暖と言われる地域であっても雨ざらしの露地植えでは、長期的にみると冬越しは難しい。何年に一度の寒波に晒されればひとたまりもない。屋内のドライガーデン、半屋外で冬季は保温できるような建築環境などで効果的にデザインしたい。また分類上、その姿をもってサボテンではないことなど、気候への適応や収れん進化など、子どもたちへの環境教育素材としての鉢ものの普及もあらためて提案したい。



写真2. ダイウンカク 写真3. ハルコマ



写真4. タイショウキリン

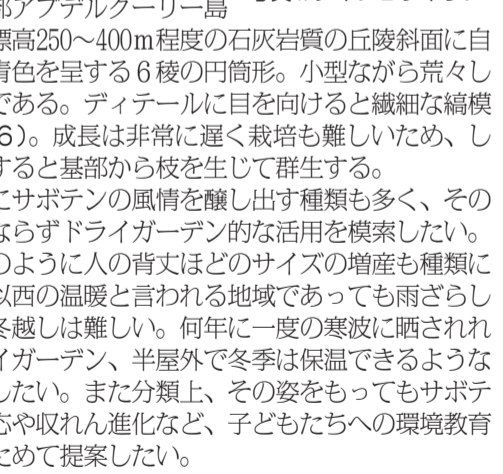


写真5. コウサイカク 写真6. ユーフォルビア・アブデルクリ

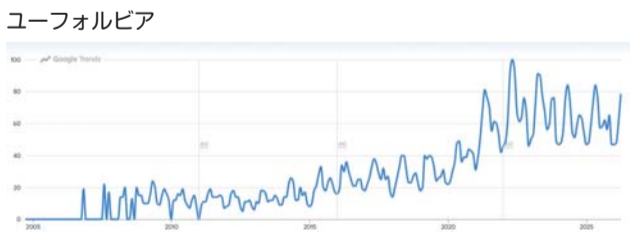


図1 Google Trends 機能による「ユーフォルビア」の検索傾向

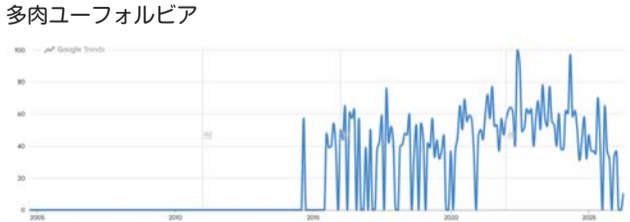


図2 Google Trends 機能による「多肉ユーフォルビア」の検索傾向

日本列島植木植物園 ナショナルプラント コレクション*

ヤマアジサイ

問い合わせ 川原田邦彦 確実園芸場(茨城県) ☎029-872-0051



蝶のたわむれ



鉢伏てまり



彩



伊予錦



伊予の薄墨



貝咲



菊咲はい



金鈴



九重山



クレナイ

植物の多様性と人間生活

第3回 バナナの話(1)

東海大学名誉教授 長野克也

◆プロフィール 東海大学名誉教授(農学博士)。これまで、ヒノキ科樹木の細胞遺伝学的研究、地域生物資源の有効活用に関する研究および東南アジアの有用資源探査を実施。特に生垣の多面的な機能の研究やその普及に関して社会貢献賞を受賞。植物種子の遺伝子拡散について多くの知見を持ち、国内外の種子標本約3000種を保有。

今回は皆さんも一度は食べたことがある果物、バナナについてお話します(写真1)。

日本人に最も好かれている果物は何かご存じでしょうか? 答えはイチゴです。人により好みが変わりますが、好き嫌いは分かれますがイチゴ、モモ、ブドウ、ミカンなどが上位を占め、意外にもバナナはベストテンの下位にランクされます。ところが、消費金額や消費量ではダントツの1位であり、バナナは日本人が最もたくさん食べている果物なのです。それはバナナが美味しく栄養も豊富で安価であることに起因します。もちろん世界的にみてもバナナは最も生産量が多く(世界の果物総生産量の14%)、最も食べられている果物なのです。しかし、私が子供の頃のバナナは高級果物で病気のときに食べることのできるものでしたから、時代は変わったものだなと感じています。



写真1 タイのバナナの露店

我が国で最初にバナナを食べたのは織田信長ともいわれ、これは宣教師が献上したものだそうです。これが庶民のものとなったのは明治時代ですが極めて高価な果物でした。

バナナの和名は芭蕉と表記されます。松尾芭蕉の名前の由来の芭蕉(バショウ)です。この芭蕉は中国から日本に入った種で観賞用として江戸時代には庶民の庭にも植栽されました。残念ながらこの芭蕉は食用種とは異なり、果実は食用となりません。我々が普通食べているバナナは日本語では実芭蕉(ミバショウ)と呼ばれます(写真2)。



写真2 西表島の島バナナ

本文では食用の実芭蕉をバナナと表記し、食用にならない芭蕉と区別させていただきます。また、その他のバショウ科の説明には学名、和名、英名、現地名を文章の内容に沿って補足してまいります。また、種(タネ)と種子(タネ)の表記も内容によって使い分けております。

・「バナナとはどのような植物か」

バナナはバショウ科バショウ属に分類されバナナはそれらの総称として使われています。

野生種はインドネシア、フィリピン、ベトナムなど東南アジアに広く分布し、主な生食用の祖先といわれている *Musa acuminata* とインド北東部からミャンマー、タイ、中国南部、フィリピン、日本など料理用バナナや繊維用として用いられる *Musa balbisiana* (リュウキュウバショウやイトバショウとも呼ばれる) などがあります。ちなみに松尾芭蕉の芭蕉(*Musa basjoo*) は耐寒性が強く観賞用としてわが国でも古くから栽培されてきました。ちなみに自宅近くには熊本市が管理する芭蕉園といわれる大きな植栽地があり無数の芭蕉が葉を広げる景観は熱帯のジャングルようです(写真3)。



写真3 熊本市の芭蕉園



写真5 ストレリチア

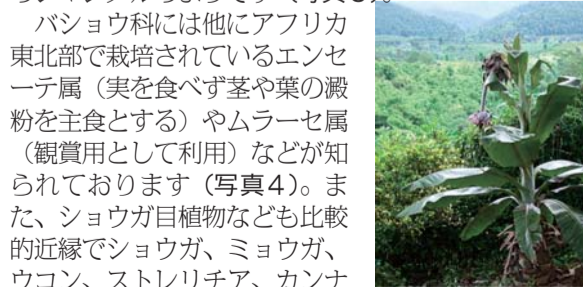


写真4 エンセーテ

バショウ科には他にアフリカ東北部で栽培されているエンセーテ属(実を食べず茎や葉の澱粉を主食とする)やムラーセ属(観賞用として利用)などが知られております(写真4)。また、ショウガ目植物なども比較的近縁でショウガ、ミョウガ、ウコン、ストレリチア、カンナなどがあります(写真5)。

日本で食べられるバナナは主に果物屋の店頭に並ぶ *Musa acuminata* と沖縄や小笠原で島バナナと呼ばれる *Musa paradisiaca* などです。なお、沖縄で島バナナと

呼ばれるものにはいくつかの品種(モンキーバナナは違う品種です)もあり、ここでいう島バナナ(*Musa paradisiaca*)とは違うものも栽培されています(写真6)。沖縄の島バナナのルーツは小笠原諸島といわれており、フィリピン産のバナナが小笠原諸島に導入され、その品種が沖縄に導入されたといわれます(写真7)。



写真6 西表島の島バナナ



写真7 フィリピン、カンボジア産はキャベンディッシュ種

Musa acuminata は品種名キャベンディッシュといわれ世界で流通するバナナのほとんどを占めます(写真7で紹介したフィリピン産やカンボジア産のバナナもキャベンディッシュです)。



写真8 バナナの茎の断面

バナナは植物学的には草本になります。我々がバナナの植物体と認識しているものは地上部に現れた葉です。幹のように見えるものは偽茎とよばれ葉が幾重にも重なりあったものです(写真8)。本来の茎は塊茎として地下に存在します。すなわち我々がバナナの木として認識しているものは体を支えるための葉と光合成をする2種類の葉によって構成されています。

・「食用バナナは種無し」

我々が食べているバナナは3倍体の種無しバナナなのです。種子を付けない高等植物はありませんので種子の無い果物(種無しスイカや種無しブドウ)は突然変異もしくは人為的に作出されたものがほとんどです。



写真9 バナナの果実の断面

本来、バナナには種子がありました。市販のバナナを縦に切ると果実の中心にごく小さな黒い点(種子の痕跡)が連なっているのが観察できます。ここに本来はバナナの種子が並んでいるのです(写真9)。

・「バナナの繁殖法」

種無しバナナの起源は諸説ありますが異種交配による突然変異と考えられます。ここでは詳細な過程は省きますが品種間の交配や突然変異の組み合わせで現在の3倍体品種が成立したと考えられます。このように成立した種無しバナナは種子が無いことからクローン繁殖によって増殖されます。例えば、ひこばえの株分けによる繁殖や挿し木などが行われてきました。現代では生長点を用いたウイルスフリー苗による大量増殖も行われています。

・「種ありバナナ」

現代でも東南アジアの自生地ではバナナの実生繁殖を見ることができます。野生のバナナでは硬い種子がびっしり詰まった成熟した果実が観察されます(写真10)。しかし、日本で販売されているバナナに種子を発見することはできません。私が東南アジア、特にラオスに調査に出かけると露店で炭火焼の甘くない(サツマイモの様な味と食感)バナナを買うことがありますが、そのときは用心して食べなければなりません。種無しのはずなのに数個の種子がたまに入っていることがあり、間違ってもかむと歯を痛めてしまうからです。日本人は種子の無いバナナしか食べることがないので油断しがちです。



写真10 野生のバナナの種子

バナナについては紙面が足りませんので次号も続きをお話しします。

特集

藤の管理・維持についての所感

神代 亮 (株)筑紫植物園(福岡)

4月から5月の連休にかけて各地の藤棚も満開になり、名所や観光地も賑わったことだろうと思います。私自身が満開の時期に藤を見て思うことを過去の経験や実際に所有者の方から受けた相談も踏まえて書き綴らせていただきます。

まずは、フジツボミタマバエについてです。フジツボミタマバエはタマバエの一種で、開花前の花に幼虫が寄生します。寄生された花は玉状の奇形花となり開花することなく、大量発生した場合花房が玉すだれ状の奇形花の塊になります。幼虫は体長1mm程度で乳白色です。肉眼での発見が難しく、奇形花の原因を高温暖等の環境要因や品種の特性と誤認されることがあります。その為藤の名所と呼ばれる場所でも適切な対策が行われず、数年に亘り放置される事が多いです。また、成虫も体が小さく、発生時期や活動時間が特定が困難であり、フジツボミタマバエの研究があり、名所や観光地も賑わったことだろうと思います。私自身が満開の時期に藤を見て思うことを過去の経験や実際に所有者の方から受けた相談も踏まえて書き綴らせていただきます。

では動線1年目から手での処分を行い、段階的に発生数を減少し、4年目には発生数をほぼ抑えることが出来ました。開花期に脚立の使用が困難な混雑地でも落下した奇形花の焼却等適切な処分は重要と考えます。美観に配慮しないのであればブルーシートを設置も効果的です。フジツボミタマバエの生態に不明な点が多い以上、今後の拡大を防ぐ為にも早期の対策が必要と考えます。

山藤の混入もよく目立ちます。現在流通・管理されている物は接ぎ木したものが大半であり、数年管理を怠った結果果樹上まで台木のツルが混入・侵食していることがあります。花数が少ない場所では管理者が品種や花色等の特徴を把握していない事もありません。老齢木の場合は表皮の傷と重なりどこからが台木なのか判別できないこともあり、本来藤は挿し木や取り木も可能です。今後人手や予算の不足を原因とした管理の衰退が予想される中、生産段階で品種を確定させ、混入を未然に防ぐことが重要と考えます。

名所・観光地のほとんどは公園や神社など公共性が高い施設であり、不特定多数の人が鑑賞することを目的としています。昨今はネット上での写真の投稿などにより、突然鑑賞者が急増したケースも耳にします。鑑賞者の増加自体は喜ばしい事と思いますが、管理上の懸念点もいくつかあります。その一つが踏圧による樹勢の衰退です。フジの根は直根を持たず、地下30cm程の深さを這うように進みます。過度な踏圧の増加はそれだけで樹勢の衰退の原因となります。また、所有者・管理者によっては藤の根域に対する理解が浅いことも対策が軽視されがちな原因の一つとして挙げられます。対策としては人の動線上にウッドデッキや簀子の設置、花期のパーテーションによる立ち位置の制限があります。安易な根善点の挙げられます。私自身も所有者の方から管理についての相談を受けることがあります。コスト等を理由に方全の管理を行うことが難しい場合も多々あります。そのような場合は上記の様な比較的作業を選ばず、低コストで実行可能な管理方法を提示するようにしています。常日頃から植木の生産・管理に従事されている皆様も藤棚の管理について相談を受けた際、今回私が書かせて頂いた内容がその一助となれば幸いです。

この度、日本植木協会に入会させていただきました。(株)倉持グリーンの倉持圭祐と申します。弊社は茨城県阿見町で植木の生産、販売を行っております。自己紹介させていただきます。普通科高校卒業後、埼玉県テクノ・ホルティ園芸専門学校で園芸科で造園技能士2級を取得し、卒業後は造園工事の会社で2年間就職してまいりました。そして現在、実家で植木の生産の仕事を始めて6年目になり、一通り仕事も覚えたいので仕事をまかせてもらえることが増えました。植木協会には父は入会しておらず、私が青年部の準会員として2年お世話になった後、今回正会員として入会する運びになりました。

入会するきっかけは、弊社現在、植木生産農家ですが、元々曾祖父の頃は落花生を生産している野菜農家でした。植木生産を始めた頃は知識もなく、出荷先に大変苦勞していたという事を現在社長である父から良く聞かされています。そのような経験から、日本植木協会に入会させていただきます。

最近ではアオダモ(株立ち)やナツハゼ等が必要があるので、生産数はまだまだ少量ですが増産したいと考えています。最後になりますが入会を推薦していただいた、茨城県支部の方に感謝申し上げます。

支部会や研修、総会等に積極的に参加し、様々な方と交流し仕事にいかし皆様と一緒に喜ばれる様な植木生産をしていきたいと思っております。今後とも皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新入会員紹介

(株)倉持グリーン

倉持 圭祐

〒300-0334 茨城県稲敷郡阿見町鈴木 33-4
電話 029-888-9330
FAX 029-888-1317
E-mail keisukekuramoti@gmail.com



自社物のフジ



浜松フラワーパーク



夜間照明



体の小さいフジツボミタマバエ



ウッドデッキを使用した動線



入会するきっかけは、弊社現在、植木生産農家ですが、元々曾祖父の頃は落花生を生産している野菜農家でした。植木生産を始めた頃は知識もなく、出荷先に大変苦勞していたという事を現在社長である父から良く聞かされています。そのような経験から、日本植木協会に入会させていただきます。

最近ではアオダモ(株立ち)やナツハゼ等が必要があるので、生産数はまだまだ少量ですが増産したいと考えています。最後になりますが入会を推薦していただいた、茨城県支部の方に感謝申し上げます。

支部会や研修、総会等に積極的に参加し、様々な方と交流し仕事にいかし皆様と一緒に喜ばれる様な植木生産をしていきたいと思っております。今後とも皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

お知らせ 令和8年度 都道府県別供給可能量調査 開始案内

調査期間: 令和8年7月1日(水)~7月31日(金)
※6月下旬に入力用システム搭載のCDを支部長及び各支部Ⅱ委員にお送りし、それをもとに入力し、結果は協会HPで公開し、官公庁及び造園関係団体の材料調達時の参考にしていただいています。

お知らせ 令和8年度 社園別生産数量調査 開始案内

調査期間: 令和8年6月25日(水)~7月20日(月)
※詳細は別紙「入力マニュアル」でご確認願います。
生産数量調査代行入力について
エコスに代行入力を依頼することが可能

です。代行入力は入力1件につき70円の有償です。
エコス 大畠 寿裕
(Tel) 045-309-0018
(Mail) sp_ohata@daiiry.ocn.ne.jp

令和8年度 植生アドバイザー育成講座 受講生募集

講座は全3コースで構成されており、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されています。
1. 日時: 令和8年8月27日(水)~8月29日(土)
2. 内容:
1年目「A植生調査基礎コース」: 植生とその生態、日本の多様な植生、植生調査方法、野外実習、データ整理と解析
2年目「B植生景観基礎コース」: 植生景観の基礎、植生景観調査方法、野外実習、データ整理と解析、景観区分図の作成と修

復計画
3年目「C植生復元・モニタリングコース」: 生態学的植生復元、植栽計画及び施工の野外実習、景観修復に基づいた植栽計画
3. 講師: 植生学の専門家の先生方で実施。
4. 場所: ふじやまビレジ(群馬県利根郡川場村谷地1320)
5. 受講料: 協会員62,000円、協会員以外68,000円(7月17日までの早期お申込みの方は64,500円)、※受講料は税込、研修費・宿泊費を含む)

会員動向

社園名・TEL・FAX 変更
▷新 花喜園(茨城県) 旧 花喜園緑化
TEL0479-33-2605 FAX0479-33-0856
社園名変更
▷新 東洋電化工業(株)園芸事業所(高知県) 旧 東洋園芸食品(株)園芸部

〒300-0334 茨城県稲敷郡阿見町鈴木 33-4
電話 029-888-9330
FAX 029-888-1317
E-mail keisukekuramoti@gmail.com

長谷川 恵美子 様
(長谷川博章氏のご母様)
長谷川園(栃木県)
令和8年5月26日没 享年70歳
▷大崎 和民 様(大崎和生氏のご尊父様)
(株)文化農園(愛知県)
令和8年5月23日没 享年99歳